

令和8年度 第1回四国中央市男女共同参画審議会 会議録

1. 開催日時 令和8年8月18日（火） 19時00分から20時30分
2. 場 所 市役所市民交流棟 2階 会議室2
3. 出席者 （委員長）大西広志 （副委員長）猪川佳子
（委員）高橋英理子、石川清美、高石浩、
種田万葉、橋本奈美 （敬称略）
（事務局）地域振興部長 合田晃友、 魅力創発課長 鈴木健生
魅力創発課課長補佐 守屋貴子、細川純生
4. 傍聴者 なし
5. 会議内容
 1. 開会
 2. 委嘱状交付
 3. 自己紹介
 4. 委員長、副委員長選出及びあいさつ
 5. 審議事項
 - （1）四国中央市における男女共同参画行政の現状について
 - （2）令和7年度事業実績について
 - （3）令和8年度事業計画について
 - （4）第2回四国中央市男女共同参画審議会について
 - （5）その他
 6. 閉会
6. 会議録 次頁のとおり

	●開会 ●委嘱状交付、自己紹介、委員長、副委員長の選出及びあいさつ
事務局	●審議事項（１）四国中央市における男女共同参画行政の現状について事務局より説明 説明後、質問や感想が述べられた。
委員	現場や各種会合への女性の参加率は高いものの、役職や管理職へのステップアップに関しては、「自分に務まるか」という不安や家庭との両立への懸念が心理的ハードルとなっている。
委員	男性側の意識改革に加え、女性自身が不安を払拭しキャリア形成に前向きに取り組めるよう、段階的な研修や周囲からの後押しなどの仕組みが必要である。
委員	性別を問わず、同じ目標に向かってお互いの強みを活かし合い、不足部分を補い合う協力体制や周囲のサポートが、上位職に挑戦する際の大きな土台となる。
委員	夜間の会合や役職を担う上では、配偶者（パートナー）の理解や家事・育児等の分担といった家庭内の協力体制が不可欠である。
委員	夫側の積極的な家事参加や、実家のサポートなど、個々の家庭状況に応じた柔軟な協力関係の構築が、社会的な活躍を支える基盤となる。
事務局	●審議事項（２）令和７年度事業実績について事務局より説明 説明後、質問や感想が述べられた。
委員	市内企業において「ひめボス」認証制度の取得や関連セミナーの活用が進んでおり、四国中央市は県内でも高い取得率を示すなど先進的な取り組みが見られる。
委員	制度の導入や男性の育児休業取得促進などを通じて、社内の意識改革や働きやすい環境づくりが進む一方で、未婚化や少子化に伴う若年層の確保、共働き世帯における子どもの急病時の対応（受け皿の整備）などが重要な課題であると考ええる。
委員	消防団においても若手団員の確保や活動負担の軽減が課題である。
委員	女性消防団員が誕生し、広報活動をはじめ、災害時等における女性の視点やきめ細やかな対応の重要性が高まっており、今後は防災分野へのさらなる女性の参画が求められる。
事務局	●審議事項（３）について事務局より説明 (質問等なし)
事務局	●審議事項（４）について事務局より説明 説明後、第２回審議会におけるヒアリング項目について意見が述べられた。
委員	「DV相談事業」：相談窓口の設置状況や、市民が心理的ハードルを感じずに利用しやすい工夫・実態について伺いたい。
委員	「要保護児童対策」：児童や保護者に対する具体的な支援体制や対応状況について

	て伺いたい。
委員	「防災関連出前講座」：防災訓練の実施状況や、災害時における女性の参画・視点を活かした防災体制の現状について伺いたい。
委員	外国人の就労支援や地域社会における受入・共生に向けた行政の取り組み状況について伺いたい。
事務局	第2回審議会の日程と担当課と日程調整をさせていただき、第2回審議会において、この中から2項目の説明をさせていただきたい。
事務局	●審議事項（5）について （質問等なし） ●閉会